

ぴゅあ峡南 フェスティバル 2019 記念講演会
10月19日(土)

受講無料

13:00 ~ 14:30
(ぴゅあ峡南 2階研修室)

矢崎仁司 (やざきひとし)
(山梨県南巨摩郡富士川町在住・
映画監督・脚本家)



日本大学芸術学部映画学科在学中に映画監督としてデビュー。ヨコハマ映画祭にて、自主制作映画賞を受賞し、海外の映画祭において注目を浴びる。代表作品に「風たちの午後」「三月のライオン」「太陽の坐る場所」などがある。2013年から富士川町の住民らが制作に携わった映画「富士川日記」の指導と監督を務め、昨年にはその2018年版が完成し、同町文化ホールで上映会が開かれた。2020年初夏には最新作『さくら』が公開予定。

石坂督規 (いしざかとくのり)
(東京都出身・埼玉大学教授)




都留文科大学卒業、広島大学大学院修了後、三重大学准教授、東京未来大学教授などを経て現職。専攻は、社会学・地域社会学。男女共同参画や若者の自立、移住・定住に向けた取り組みを支援するほか、多くの自治体や地域のまちづくり、地域再生に携わる。

「我が町のコト、男女共同参画のコト、
映画をとおして考えよう！」

矢崎仁司監督 & 石坂督規教授
トークライブ

☆申込先 ぴゅあ峡南
電話またはFAX、メール、窓口まで
TEL : 0556-64-4777 FAX : 0556-64-4700
mail : pure-kyonan@yamanashi-bunka.or.jp

※手話通訳あります
※講演会のみ託児あり
(生後6ヶ月~就学前) 

開催日 3日前までに予約

映画 「富士川日記 2018『はんぶん』」 上映 (30分)

主催 ぴゅあ峡南フェスティバル 2019 実行委員会
山梨県立男女共同参画推進センターぴゅあ峡南